

広報モニターアンケート【6月号】

○今月号の内容について

ページ	コーナー名	調査項目	評価 (5段階)	ご意見
2~3	市長就任のごあいさつ	テーマ・内容	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・非常にすっきりしたページ建てで、大きな写真と見出し、レイアウトのセンスも良い。「4年で変えるプロジェクト」の提示も適切で、市長あいさつ文と合わせ「何かが変わる」期待感を持たせてくれる。「何かが変わる→何かを変える→何かが変わった」の道筋を、広報紙で示して欲しい。 ・新市長のマニフェストについて、分かりやすくてよいが、実現化に向けて、4半期ぐらいで達成度を順次掲載するとよい。 ・写真が大きすぎる。選挙の公約的な感じがした。これからのことについて、市長としての意見がほしい。 ・市長の考えがよく分かる文章で、読みやすかった。 ・新市長の写真はカラーのほうがよいのではないか。
		文章	3.9	
		写真・イラスト	3.9	
		レイアウト	4.3	
5~6	市政トピックス	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・トピックスとは「話題」。①~③は市民手続の重要な変更であり、「市政トピックス」で扱う内容としては違和感がある。ここは「〇〇の重要なお知らせ」枠で周知した方がよい。 ・②の見出しは不適切ではないか。制度変更の説明やや不十分。 ・とても重要なことのように見えるが、その問題に直面したことがなく、内容が余り理解できなかった。 ・とても大切な市政トピックスなのに、文字が小さい。 ・上から下まで全て読まないと分かりにくい内容で、もう少し見やすいレイアウトにした方がよい。 ・制度について、分かりやすいレイアウトで特に「本人通知制度」がよく理解できた。 ・テーマを目のひく色にしてあるので、興味を持って読むことができた。
		文章	3.5	
		写真・イラスト	3.5	
		レイアウト	3.6	
7	梅田市長山田副市長が退任されました	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・4年の任期・大役を終えた両氏への”慰労と感謝の意”を表すのにふさわしい構成。あいさつも簡潔にまとまっており、誠実で穏やかな人柄が十分に拝察できる。 ・ゆったりとしたレイアウト・写真配置も悪くない。右肩4分の1の朱円が笑顔の大団円を象徴している。 ・梅田市長の行政改革されたことが分かりました。
		文章	4.0	
		写真・イラスト	3.9	
		レイアウト	4.0	

8~13	特集 自分らしく、 思うままに	テーマ・内容	4.9	<ul style="list-style-type: none"> ・人にスポットを当てた企画は絶妙。4組への直接面談取材が「生きた言葉と文章」で存分に語られている。「人物」は何にも勝る素材であり、「人の言葉」は何にも勝る説得力と浸透生を持つ。他の記事、文章と違ってスーと一気に読み込める。 ・一人暮らしが多い中、仲間を作っていただくことはよいことだし、いきいきしてほしいと感じた。文字も大きめで、高齢者も読みやすい。 ・第二の人生の過ごし方、興味を持って読めた。自分も頑張ろうと思った。にこやかな写真もよい。 ・第二の人生の過ごし方に迷われている方には、ヒントになったのではないか。 ・地域で活動している方々の写真や内容を見て、とても興味がわきました。 ・4章だけではもったいない。文章・写真を減らして、もっとたくさんの人の様子を知らせた方がよい。 ・老人クラブや高齢者学級は、イメージのよい言葉に思えないので、シニアクラブやシニア学級などにはいかがでしょう。
		文章	4.3	
		写真・イラスト	4.1	
		レイアウト	4.3	
14~15	財政状況のお知らせ	テーマ・内容	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・条例で定められ、市民には大事な情報であるにも関わらず味気ない記事。市民が「ここから何を読み取り・感じるか、そして自分は何をするか」、そういう情報になり得ていない。 ・大変難しく、金額も単位が大きいので分かりにくい。 ・財政のことを一般でも分かりやすく説明されていて、グラフも分かりやすかった。 ・図解入りで市の財政状況がよく理解できた。 ・市民に分かりやすく、細かく説明しているのでよい。
		文章	3.9	
		写真・イラスト	4.0	
		レイアウト	4.0	
16~17	1か月のできごと	テーマ・内容	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いが参加していたりして、身近に感じる紙面だと思う。 ・選手権大会では、元気いっぱいの子もたちが撮れていて、こちらまで元気をもらう。 ・写真が多くて見やすい。 ・香芝検定の目的と意味が分からない。スポーツ記事が多いがスポーツ振興はよいことだと思う。 ・どのできごと、広報紙での紹介は初めてで、話題としては悪くない。しかし、見出しが4件とも「〇〇開催」の同じトーンで工夫がない。できれば、会の内容や参加者の思いを見出しに表現したい。 ・レイアウトも単調な横割りで平板。右ページの名前・結果報告の偉大なる単調さに救われている。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	4.0	
		レイアウト	3.6	
18	マイヘルスマイライフ	テーマ・内容	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・この記事は毎年掲載されているが、親がもっと子どもの歯に関心を持つような内容が必要。 ・内容がコンクール主体なのか、予防ブラッシング主体なのか不明で、見出しとそぐわない。 ・一連の流し記事になってポイントがなく、メリハリに欠ける。 ・記念写真風の全身構図は受賞者の喜びの表情がなく、面白みがない。関係者はいらぬ。むしろ子どもを抱っこしてでも親子5人・笑顔のアップ(バストショット)がほしい。 ・歯科目標の12歳児のむし歯1本以下について、目標前と現状を知りたい。 ・以前の広報よりも文章が多く、アドバイスも書かれていてよかった。 ・歯の保全是、健康を維持する上で大変重要なこと。記事の内容は、大変参考になった。 ・もう少しイラストがあってもよい。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	3.5	
		レイアウト	3.5	

19	みんなの国保	テーマ・内容	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料額の決め方についての丁寧な解説ではあるが、最後まで読んで腹に落とすには相当苦労する。市民感覚は勝手に、積算の仕組みや給付のことよりも「なぜ、こんなに高いの？」と眼前の負担額にある。 ・お知らせ情報は発信者の条件や理屈ではなく、市民の要求と必要度が優先されるのではないか。市民アンケートの「よく読む34%」という他の記事よりも一段低い回答数字が、このことを裏付けている。 ・専門的な言葉も多く、理解することが大変難しいと思う。 ・知らなかった保険料のしくみが分かったが、文字が多く、少し見にくく感じた。 ・分かりやすかった。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	3.8	
		レイアウト	3.8	
20	消費生活Q&A	テーマ・内容	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の相談報告は、個別事例紹介の前に「香芝市全体の件数と内訳」で地域の被害実態を示し、そこから傾向分析と注意喚起にいたる「地域情報」でなければ、他所で得られる「一般論」と何ら変わらない。市広報紙は一般論ではなく、地元・香芝市のことを具体的に提示・解説するものであってほしい。 ・具体例と回答を分けて書いた方が分かりやすい。 ・みんなが理解できるように図解入りで表現してはどうか。 ・楽しみにしている記事のひとつ。 ・おかしいと感じ、誰かに話すことは大切だと思うので、相談窓口があるのはたすかる。この記事で、「あれ？」と思う人がいると思う。 ・お年寄りにはとても助かるコーナー。続けて欲しい。
		文章	3.6	
		写真・イラスト	3.1	
		レイアウト	3.1	
20	消防だより	テーマ・内容	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・この見出しでは緊急性も必要性も、そして「やっぱり付けようか」と行動を促すことにはならない。「全国死亡数」ではなく「奈良県」、そして「普及率は全国、奈良県、香芝市で…」、また事例は「いつ・どこで」が示されていないと、これも一般論に終わってしまう。住宅火災警報器のことはみな承知している。あとは「行動に移すための、導火線への点火」である。一般論はやめよう。 ・火災警報器設置のコストがいくらなのか記載してほしい。 ・出火の原因など、もう少し大きく取り上げてほしいと思った。 ・家のイラストを大きくするべき。 ・設置しましょう！ではなく、一軒一軒訪問して調査するのが予防のひとつではないか。 ・事例があげてあり、わかりやすかった。 ・まだまだ未設置の家庭が多いと思うので、夏でも火災に気を付けてもらうよう呼びかけるのはよい。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	3.1	
		レイアウト	3.3	

○そのほか、今月号の広報かしばの内容など

- ・表紙は気持ちのよいすっきりとした表紙で、梅雨空を吹き飛ばしてくれそうな青空。特集の記述のレイアウトもよい。
- ・以前は「市からのお知らせ」というイメージがあったが、「市民の目線」に近い紙面・表紙だと感じる。
- ・表紙はうっとうしい梅雨の最中、さわやかな青空の写真は一服の清涼剤。意表をついた図柄ながら特集テーマとも合う。サラリと流した表紙コメントもなかなかのもの。
- ・今月号は22ページ構成。基本スタイルがあるのかないのか、定番は定番として掲載しなければならないのか。定期発行物はギチギチにパターン化するのも良くないが、反対に”月代わり”で一定しないというのもまた如何なものか。今回の22ページは12月号とは事情が違うだけに、「やや重すぎる」感じもした。
- ・「市政トピックス」、「財政状況」、「選手権大会」、「みんなの国保」の割付がやや窮屈で余裕がない。白地部分の視覚的な「紙面効果」である。とくに名前の羅列で上半分を占める「選手権大会」欄は最悪である。有りモノ・報告記事の扱いを、取材・自由記事の奔放さでもう少しフレキシブルに。
- ・香芝市関連情報では「お定まりの字句」になりすぎている。
- ・今回の特集記事は個人対象だったが、今後文化・体育サークル関連の「自分らしく、思うままにPart2」につながれば、グループ活動のすばらしさを伝えることができるのでは。
- ・編集後記も楽しみのひとつ。

○広報紙以外の広報活動についてのご意見など

- ・本当の読書率は何%なのか。一度、調査してみてもどうか。
- ・1か月のできごと以外に、来月のイベントのお知らせも知りたい。
- ・市政のテーマをもっと全面に出していくことも大切だと思う。
- ・香芝市を地域ごとに、どんな活動をしているのか掲載していくことも、香芝市全体を知るのにいいと思う。
- ・地域でしているさまざまな活動を広報してほしい。利益を求めない活動であれば、どんどん広報してほしい。